

家族を苦しめてきたリウマチに自分もなってしまった
という恐怖を松本先生の言葉で解消された方の手記

「真実の医療に出会えて親子で感謝しています。

(関節リウマチ手記)」

匿名希望 43 歳

2017 年 7 月 4 日

私は平成 23 年 11 月に第 1 子を 37 歳で出産したのですが、おむつを交える時に指が痛いと感じるようになりました。最初は指の使いすぎによる痛みかと思っていたのですが、だんだんと朝に指がこわばるようになってきました。

平成 24 年の 10 月に近所の整形外科へ行き血液検査をしたところ、基準値 40 倍未満の抗核抗体が 2560 倍という結果で、リウマチという診断を受けました。「こんな高い数値は見たことがなく、このままだと体のあらゆるところでどんな病気になるかわからないから」と、すぐ抗リウマチ薬での治療を勧められました。私の祖父も母もリウマチで、痛みで苦しんでいる姿を見ていたので恐ろしくてその場で泣いてしまいました。

私は母に「ステロイド治療により内臓も悪くなってしまったので、ステロイドの治療だけはしないように」と強く言われていました。透析をしている今もステロイドの影響で血管が弱くなっていたので、血管が蛇のように盛り上がっていて破裂しそうになっているのです。また母は、「薬もできる限り飲まないように、特に子供に飲ませないように」と何度も言っていました。自分の体でステロイドと薬は使ってはいけないとわかったのでしょうか。

漢方治療によりリウマチ治療はできないのかと、同じ月に東洋医学のある総合病院に行きました。しかし、漢方は体の調子を整えるなどの補助的な治療だけで、抗リウマチ薬と両方使用しなくてはならないということでした。抗リウマチ薬の治療を拒否していた私に、総合病院の女医さんは、「同居と出産のストレスにより症状が悪化しているので、カウンセリングを受けるつもりで子供を置いて週 1 ペースで通院して一人の時間を作ってリラックスしなさい」と言ってくれました。

私は毎週通院し、待ち時間の一人の時間を大好きな読書をして過ごし、カウンセリングを受けました。そして、心に少し余裕が出てくるようになり、どうしてもステロイドを使わずに治療をしたくてインターネットで病院を検索し始めました。「リウマチ」「ステロイド使わない」をキーワードに「松本医院」の

HPを見つけました。夢中でリウマチ治療の根本治療法を読み、手記を読み、漢方と漢方風呂と鍼灸で免疫をあげて後天的免疫寛容をおこしてリウマチを治すということがわかりました。総合病院の女医さんに相談したところ、是非行って治療を受けなさいといわれたので、平成25年8月に家族に子供の面倒を見てもらい、東京の自宅から3時間以上かけて松本医院に行きました。

初めて松本先生にお会いした時は、「リウマチは必ず治ります。」と笑顔で握手してくれました。近所の整形外科の先生の言葉にはひどく落ち込んだのに、松本先生のこの言葉を聞いた時には、天にも昇るくらいの喜びでいっぱいでした。同じ医師なのにこんなにも違うものだと、松本先生という素晴らしい先生にお会いできたことを本当に感謝しました。そしてこの時、必ずリウマチは治るのだとスッと心に入ってきて、病気への恐怖が無くなりました。

子供が幼稚園に入園すると通院が難しくなるので、それから1年ほど毎月東京から松本医院に通院しました。漢方を飲み、漢方風呂に入り、お灸をして1ヶ月ほどたったころ、右膝横にアトピーがでてきました。ステロイド治療をしていなかったためかリバウンドはひどくなく、両手が上にあがりにくくなる程度でした。

平成27年の子供が入園するころには、痛みがほとんどなくなり、漢方を飲むのを忘れるくらいになりました。

平成28年は、私のリウマチよりも子供のアレルギーの咳の漢方薬を処方してもらうことが多くなるくらいでした。今は油断して治療がおろそかになってしまったため、少し痛みがでてきてしまいました。

今度は「心のストレスゼロ」の方法も知ったので、完全に治したいと思っています。真実の医療を追求している松本先生に出会えて、本当に感謝しています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



